

OSCE評価 (評価ルーブリック)

Ver.0 養成校学生用

		合格			合否境界領域	不合格	
		問題がない	問題がほとんどない		問題がある (支障のおそれ)	重大あるいは多くの問題がある	
レベル	項目	6	5	4	3	2	1
	身なり・振る舞い ソーシャルスキル	単独で実施できる。 (信頼して任せることができる)	指導者の直接の監督なしで 実施できる。	指導者の直接の監督の下で 実施できる。	適切な患者・理学療法士 の関係を構築できない おそれがある。	適切な患者・理学療法士の関 係を構築できない。	患者に重大な不利益を 与える。
1	医療面接	単独で実施できる。 (信頼して任せることができる)	指導者の直接の監督なしで 実施できる。	指導者の直接の監督の下で 実施できる。	十分に必要な情報収集が できておらず、理学療法 に支障が生じるおそれ がある。	必要な情報収集不足のため、 理学療法に支障が生じる。	情報収集がほとんどでき ておらず、明らかに理学療法 に支障がある。
2	理学療法評価 項目の測定	単独で実施できる。 (信頼して任せることができる)	指導者の直接の監督なしで 実施できる。	指導者の直接の監督の下で 実施できる。	検査測定結果に支障が 生じるおそれがある。	検査測定結果に支障が生じる。	検査測定がほとんどでき ておらず、明らかに理学療法 に支障がある。
3	課題動作の 観察・分析	単独で実施できる。 (信頼して任せることができる)	指導者の直接の監督なしで 実施できる。	指導者の直接の監督の下で 実施できる。	観察分析結果に支障が 生じるおそれがある。	観察分析結果に支障が生じる。	観察・分析がほとんどでき ておらず、明らかに理学療法 に支障がある。
4	理学療法の実施	単独で実施できる。 (信頼して任せることができる)	指導者の直接の監督なしで 実施できる。	指導者の直接の監督の下で 実施できる。	理学療法に支障が生じる おそれがある。	理学療法に支障が生じる。	理学療法がほとんどでき ていない。
	臨床推論	過不足なく理学療法評価 考察をし、合理的に説明 ができる。	理学療法評価考察をし、合 理的に説明ができる。	主たる理学療法評価考察 のみ合理的に説明ができる。	理学療法評価考察を 表面的に説明ができる。	適切な理学療法評価考察が できない。	理学療法評価考察ができ ない。

	概略評価	優れている (総合臨床実習終了時で 期待されるレベル以上)	良い (総合臨床実習中に期待 されるレベル)	合格 (総合臨床実習開始時点 で期待されるレベル)	合否境界領域	不合格だが改善可能	明らかに不合格
--	------	-------------------------------------	------------------------------	---------------------------------	--------	-----------	---------